

2014年（日比谷野音）、2015年（東京芸術劇場）、2016年（文京シビックセンター）、に続く4回目の「6.26集会」

# 病棟転換型居住系施設について考える会

# 6.26

これでいいのか  
精神医療!!

# 集会

## 精神保健福祉法改悪案の廃案を諦めない!!

### これは精神障害がある人々への政府からのヘイトクライムです

我が国の精神医療の何が問題なのか？  
どこをどう正せばいいのか？

国の「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」では、  
精神科病院に1年以上入院する人の6割が「重度かつ慢性」としました。

厚生労働省は、「重度かつ慢性」を  
「地域で生活することが非常に困難な状態にあり、長期に入院治療が必要な患者」と定義しています。  
これは、少なくとも11万ものベッドが精神科病院に必要ということの意味です。  
しかし、その「重度かつ慢性」基準の策定は病院を経営する人たちも入って「研究」され出された結果です。  
そうです。精神科の病床を必要とするのは病院なのです。

10年で2倍以上にも増えてしまった身体拘束。  
精神病院は、未だに、人を苦しめ、閉じ込める場所になってしまっています。

精神医療は誰のためにあるのか？  
それはそこを利用する人たちのものであり、病院を経営する人たちのものではないはず。

このような誤った精神医療を正していかなければなりません。  
これでいいのか精神医療!!  
さあ、一緒に考えましょう!

- 基調講演①「“重度かつ慢性”問題から見える精神医療の“利権構造”」長谷川利夫さん（杏林大学教授、考える会呼びかけ人代表）
- ②「増加し続ける強制入院～隔離・身体拘束の背景」有我讓慶さん（大阪精神医療人権センター）
- ③「精神医療の危機～その背景と新たな道」氏家憲章さん（社会福祉法人うるおいの里）

- 報 告 関口明彦さん（全国「精神病」者集団）  
山本真理さん（WNUSP世界精神医療ユーザーサバイバーネットワーク理事）  
加藤真規子さん（こらーるたいとう）

◎後半は、フロアからお話していただき意見交換の場にします。

- 進 行 竹沢幸一さん（八王子精神障害者ピアサポートセンター）

---

日 時 2017年6月26日(月)13:00～15:30 (受付:12:30より)

会 場 参議院議員会館・講堂 (東京都千代田区永田町2-1-1)

★当日参加可能 (当日は、参議院議員会館1Fロビーにおいて、12:30より13:00まで、通行証をお渡しします)

〔連絡先〕 長谷川利夫 (杏林大学教授) E-mail/hasegawat@ks.kyorin-u.ac.jp 携帯電話/090-4616-5521